

平成29年度

京都教育大学附属桃山小学校

自己評価実施結果報告書

1. 本校の基本情報

(1) 学校名	京都教育大学附属桃山小学校
(2) 所在地	京都市伏見区桃山筒井伊賀東町4-6
(3) 学級数等	12学級(1学年2学級) 収容定員420人(1学級34人・帰国卒1人)
(4) 児童生徒数	414人(男子207人・女子207人)
(5) 教職員数	校長(併任)1, 副校長1, 主幹教諭1, 教諭15, 養護教諭1, 栄養教諭1, 非常勤講師4, ALT2, 事務職員3(専任2, 事務補佐員1), 給食調理員3, 用務員1

2. 本校の教育目標

◎自分の考えをしっかりと持ち、共に学び合う子ども

・子どもの側から教育を発想する

〈子どものための学校, 子どものための授業, 子どものための先生〉

・自ら自分たちの生活を切り拓いていく「自立の力」と、互いを尊重し合いながら共に生きていく「共生の力」を育む。

3. 京都教育大学附属学校園の目的

教育の実験、実証並びに実習の機関として、本学に附属学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校)を置く。(本学学則第5-6条)

本学附属学校は、児童、生徒又は幼児に対して、学校教育法に定めるところにより、教育又は保育を行なうとともに、本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究に協力し、本学の計画に従い、学生の教育実習の実施に当ることを目的とする。(附属学校規程第2条)

4. 本校の学校教育計画(年度重点目標)

(1) 10年先を見据えた先端研究・成果の広報

(2) 児童の基礎学力の保障とコミュニケーション能力の向上

(3) 「子どもの学び」を中心に据えた指導者の授業実践力の向上

(4) 地域・社会・国外との交流連携強化

5. 附属学校園の機能向上に関する取組

(1) 教育実習指導のより一層の充実及び教育実習の改善を図る。

(2) 大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究に協力する。

(3) 地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の成果の公表を図る。

6. 本校の特色

本校は「はじめに子どもありき」という言葉に象徴される通り、児童の自主性や主体性を育むことを伝統的に教育理念の根底に置いてきた。そこに幼稚園・小学校・中学校が隣接する恵まれた条件を生かして3校園の「1-2年間の学びをつなぐ」連携研究を積み重ね、「確かな学力」と「豊かな社会力」の育成を図っている。また、文部科学省研究指定を受けての「メディア・コミュニケーション科開発」・「外国語教育強化拠点事業」・「我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究」等、不易流行を体現する実践研究を進めている。

平成29年度 京都教育大学附属桃山小学校 学校評価

自己評価	
A	高いレベルで達成できた
B	達成できた
C	一部達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

① 教育活動その他の学校運営に関する事項（学校教育法に基づく評価）

本年度の 重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己 評価 区分	学校関係者評価	改善策
<p>(1) 10年先を見据えた先端研究・成果の広報</p>	<p>[教育の情報化推進拠点事業]</p> <p>① 小学校における情報活用能力育成の要となる教科（メディア・コミュニケーション科）の研究を継続して行う。特に、教科用図書の作成及びそれを活用した授業実践を行い、情報活用能力育成のための好実践事例を増やす。</p> <p>② 教育の情報化に伴う各教科等における情報機器を活用した授業実践を行う。特に、タブレットPCを活用した主体的・対話的で深い学びの実現に着目し、授業研究会等を行いながら教職員間で議論を深める。</p> <p>③ 各教科特有の「見方・考え方」を働かせながら情報活用能力を体系的に育成していくカリキュラムの在り方について検討し、各教科等で育成を目指す資質・能力の関連性を、カリキュラム・マネジメントの視点で見直しを図る。</p> <p>④ 教育の情報化による研究の成果と課題について、教育実践研究発表会を開催する。外部からの参会者を募り、公開授業を通して情報機器の活用や情報活用能力育成のための授業の在り方について広報するとともに、研究協議会や有識者の講演を通して課題の克服に向けた情報の交換を行う。</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>

	<p>[外国語教育強化地域拠点事業]</p> <p>⑤附属桃山中学校・附属高等学校とともに、グローバル社会で活躍できる英語運用能力を育むための一貫した学習到達目標やカリキュラムの作成に当たり、実践を通して成果と課題を見出す。</p> <p>⑥外国語教育強化地域拠点事業研究の成果と課題について、教育実践研究発表会を開催する。外部からの参加者を募り、公開授業を通して小学校外国語科の指導方法や指導内容、教材の在り方について広報するとともに、研究協議会や有識者の講演を通して課題の克服に向けた情報の交換を行う。</p> <p>[幼小中連携教育研究]</p> <p>⑦附属幼稚園・附属桃山中学校と教育理念や教育方法等の連携を行い、教員間の連絡を密に行いながら、学びの連続性や互惠性に着目した授業実践を各教科等で行う。</p> <p>⑧交流授業を通して、各教科等の特性や発達段階の違いに即した適切かつ効果的な連携の姿をプログラム表の形式で示す。</p>				
<p>(2) 児童の基礎学力の保障とコミュニケーション能力の向上</p>	<p>① 授業時間数を標準時間数より各学年でおおむね60～80時間程度増加させ、児童が主体的・対話的で深い学びを実現していくために保障されるべき追求の時間を確保する。</p> <p>②毎朝20分程度のスピーチの時間を全学年で設定し、個別に設定されたテーマや各自が追究している話題について、相手がわかるように説</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>

	<p>明したり、発表の内容から問いを立て、考えを出し合いながら答えを見出したりするような議論を行うようにする。同時に、相手の立場や状況に応じた伝え方や質問の仕方、答え方などを学習し、円滑なコミュニケーションを行うための素地を養う。</p> <p>② 特に低学年において、放課後の完全下校時刻を15分程度繰り下げ、個別の支援を行ったり、学習の基礎の定着を図ったりする時間を確保する。</p>				
<p>(3) 「子どもの学び」を中心に据えた指導者の授業実践の向上</p>	<p>①各教員が専門とする教科等を中心に「子どもが自ら課題を追究し、議論を通して課題の解決に向かおうとする」授業の実践を行う。授業実践を通じた各教員の取り組みの様子について校内研究会で交流するとともに、本校研究に携わる有識者などから意見を頂き、「子どもを中心にした学びのあり方」について議論を深め、講義・教師主導型によらない授業を行える教員の授業構成力や指導力の向上に努める。</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>
<p>(4) 地域・社会・国外との交流連携強化</p>	<p>①地域の福祉施設との交流授業など、地域人材と触れ合う機会を増やし、児童が地域社会の一員であることの意識を高められるようにする。</p> <p>③ 琵琶湖フローティングスクールや幼小中連携教育研究による交流学习を通して他校と連携を図り、自らの思いを広く発信したり、相手の立場や状況を考えながら情報を受け取り、ともに解決に向けて努力していこうとする意欲を高められるようにする。</p> <p>③オーストラリア・ベレア小学校や台</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>	<p>年度末記載予定</p>

	<p>湾の台北市立大学附属小学校との交流を行うことで、異文化への理解を深めたり、国際的な視野に立った課題意識や問題解決への意識を高められるようにする。</p>				

平成29年度 京都教育大学附属桃山小学校 学校評価

自己評価	
A	高いレベルで達成できた
B	達成できた
C	一部達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

② 附属学校園の機能向上に関する事項

本年度の 重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己 評価 区分	学校関係者評価	改善策
教育実習指導のより一層の充実及び教育実習の改善 (中期計画 35)	・大学の現地教育運営委員会と協働し、教育実習指導や実習評価の改善に取り組む。	年度末記載予定	年度末記載予定	年度末記載予定	年度末記載予定
大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究への協力 (中期計画 36)	・大学の「グローバル人材育成プログラム」事業に協力し、附属学校においてカリキュラムの試行や授業実践を行う。 ・大学教員、附属中学校、附属高等学校の教員と共同して「外国語教育強化地域拠点事業」に取り組む。	年度末記載予定	年度末記載予定	年度末記載予定	年度末記載予定
地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の成果の公表 (中期計画 37)	・本学附属教育実践センター機構との共催、京都府・市教育委員会の後援により、研究発表会を開催する。 ・教育委員会その他学校関係者の学校訪問を積極的に受け入れる。	年度末記載予定	年度末記載予定	年度末記載予定	年度末記載予定

平成29年度 学校評価 年間計画

学校名: 京都教育大学附属桃山小学校

時期	評価の検討と実施等
平成29年 3月	平成28年度学校自己評価実施、学校評価結果及び改善策とりまとめ
4月	平成29年度学校運営方針、重点教育目標等策定 学校だよりにて平成28年度学校評価結果及び改善策等を保護者へ周知 育友会総会にて平成28年度教育活動報告
5月	平成28年度学校評価結果及び改善策、平成29年度学校評価項目、平成29年度学校評価年間計画の学長への報告（5月10日期限） 学校評価結果等のホームページ掲載
6月	学校評議員候補者の確定
7月	第1回学校評議員会実施
8月	今年度の重点目標に基づく進捗状況の確認
9月	
10月	
11月	
12月	
平成30年 1月	
2月	研究発表会参加者アンケート実施 第2回学校評議員会実施
3月	児童アンケート・教職員アンケート・保護者アンケート実施 学校自己評価実施、学校評価結果及び改善策とりまとめ
4月	平成30年度学校運営方針、重点教育目標等策定 学校だよりにて平成29年度学校評価結果及び改善策等を保護者へ周知 育友会総会にて報告
5月	平成29年度学校評価結果及び改善策、平成30年度学校評価項目、平成30年度学校評価年間計画の学長への報告（5月10日期限） 学校評価結果等のホームページ掲載